

森吉山山行報告（平成 29 年 6 月 24 日（土）－26 日（月）

参加者（6 名）： 石井、伊藤、神田、松山、三浦、陽田

行程： 24 日（土） 15：40 阿仁前田駅＝16：15 国民宿舎森吉山荘（泊）

25 日（日） 森吉山荘 7：30＝8：05 登山口 8：15－11：15 ヒバクラ分岐－11：45 山人平 12：00－12：45 森吉山山頂 13：00－14：10 ゴンドラ乗り場上＝14：30 ゴンドラ乗り場下 14：40＝14：55 阿仁合駅＝角館＝田沢湖＝18：00 駒ヶ岳グランドホテル（泊）

26 日（月）雨のため秋田駒ヶ岳は中止 ホテル 9：40＝田沢湖＝一関＝平泉＝19：56 東京

森吉山は秋田県北部にあり、標高は 1,454m とあまり高くはないが、花の百名山として知られている。その山麓にはかつてはブナ林が広がり、マタギの里としても知られていた。ついでなので近くにある、これも花の百名山である秋田駒ヶ岳に行くことにした。

24 日（土）は快晴、各自観光などを楽しみ阿仁前田駅に集合した。旅館の送迎車で「国民宿舎森吉山荘」に到着し温泉と夕食を楽しんだ。

25 日（日）、7 時 30 分の乗り合いタクシーに乗り、8 時 05 分にヒバクラ登山口に着いた。緑一色の広葉樹の林の中を行く登山道はあまり高低差が無く、頭上を見ると青空にブナの緑が映えている。今年は花が遅いようだがイワカガミやミズバショウ、ゴゼンタチバナ、マイズルソウなどが下草に混じって咲いている。

静かな山道を歩いて行くと傾斜が徐々にきつくなり、やがて急な木の階段が現れた。汗を流して登るとヒバクラ岳が大きく見え道が平らになってきた。その先には湿原があり木道が続いている。11 時 15 分に着いたヒバクラ分岐からはなだらかな森吉山が見えてきた。

一旦軽く下って軽く登ると 11 時 45 分に山人平に着いたのでお昼とする。12 時丁度に出発して山人平を進むとこのあたり一帯はチングルマの群落が素晴らしい。今回はやや早すぎたようでまだ蕾の花が多いが、広いお花畑に白い花が一面に咲き、イワカガミのピンクがアクセントになっている。その後山頂直下の斜面を登ると雪が多少残っており、2 つの雪渓を乗り越えて、12 時 40 分に森吉山山頂（1,454m）に着いた。

山頂には多くの人がいるが、時間が遅めのためか下山していく人が多い。山頂標識で集合写真を撮り周りの山を眺める。残念ながらこのころには雲が大分出てきてしまい見晴らしはあまり良くない。ゆっくりしたいところであるが、時間があまりないので 13 時に下山した。この時間からも登って来る人が結構いるし、下る人も多いので連なって下って行く。

山頂から少し下ると「稚児平」があり、さらに下には避難小屋がある。その後ゴンドラ乗り場まではシラネアオイロードとなり、道の両側に咲きたての濃い紫色のシラネアオイの花が続く。足元にはオオバキスミレとミツバオウレンが多かった。

14 時 10 分に乗ったゴンドラは片道 1,200 円と高いようだが、下まで 20 分もかかるし楽である。30 分に下に着くと、乗り合いタクシーのワゴン車がすでに待っていた。すぐに乗り込み、14 時 55 分ごろ阿仁合駅に着いた。秋田内陸縦貫線に乗り角館に近づくころついに

雨が降り出した。角館から田沢湖に行き、ホテルの送迎車で18時頃「駒ヶ岳グランドホテル」に着いた。秋田駒ヶ岳八合目に行く「アルパこまくさ」バス停に近いこのホテルはかなり大きい。まずは温泉で汗を流し、19時から夕食としビールで乾杯した。

26日(月)、朝は雨音で目が覚めた。夢であればよいがと思ったが、残念ながら現実であった。天気予報では昼頃から回復傾向らしいが、現時点ではかなり強く降っているので残念ながら山行はあきらめた。山は中止としたがこのまま帰るのはもったいないので、平泉に行き、毛越寺や中尊寺を見学し、19時56分に東京駅に着いて解散した。

今回は、森吉山はお天気が良く花もきれいで、花の山を楽しむことができた。秋田駒ヶ岳は残念であったが、梅雨の時期なのでやむを得ないと考える。今回全員が利用した大人の休日切符は非常に便利なので、これを利用した山行を今後も企画したい。

(伊藤)



毛越寺